

- 特別支援教育支援員の小中学校への増員を図るとともに、幼稚園への配置にも注力します。
- いじめ防止等への取り組みとして、現在実施している各校のアンケート調査内容の見直し、調査結果を校内で共有する仕組みを明確化します。
- 不登校の未然防止策に加え、心の理解や具体的な対応方法を含めた研修を促進します。
- 今後5年間で**全ての小中学校の普通教室へのエアコン整備**を計画的に進められるよう、平成28年度から順次設計に着手します。
- 一志中学校の第3期と**新町小学校の第1期大規模改造工事**をはじめ、プレハブ校舎の解消に向けた**西が丘小学校の増築工事**を進めます。また、市内の小学校7校、中学校3校のトイレ洋式化工事を実施します。
- 平成29年4月開校に向け、**美里地域の義務教育学校**のプール新設工事や駐車場整備、現行校舎の改修工事、通学路整備やスクールバスの購入など通学対策を進めます。
- 美里地域の3つの小学校を中心とした美里創造学習や学年交流会、リーダー研修会などのウォームアップ事業を実施します。
- 美里地域の義務教育学校の開校、再編に伴う小中学校の閉校に向けた記念事業の準備を行います。
- 幼児教育の役割と機能を確保するため、福祉部門と連携した**幼保連携型認定こども園の整備に向けた取り組み**や、公立幼稚園の適正規模の確保を進めます。
- 放課後児童クラブについては、**村主放課後児童クラブの施設の新設**をはじめ、支援員の処遇改善や障がい児の受け入れ、ひとり親家庭への支援など経営に係る運営補助を充実します。
- 社会福祉法人などの事業実施主体の多様化に伴う**放課後児童クラブの拡大**や、バス送迎機能を活用した未設置校区への対応を図ります。
- 公民館については、中央公民館を活用して、子育て支援をはじめ家庭での生活習慣や学びに向かう力などをテーマとした「家庭教育支援講座」をモデル的に実施し、他館への拡大やPTAなどへの出前講座に取り組みます。
- 将来の公民館に求められる機能や役割について、関係機関の代表者による検討委員会を設置し、平成28年度中に「今後の公民館のあり方」を取りまとめます。



美里中学校でのオープンスクール

文化財の保護活用事業

- 旧明村役場庁舎の国の登録有形文化財としての価値を残しながら、子どもから高齢者まで気軽に利用できる文化財をモチーフとした集いの場としての整備に向けた設計に着手します。
- 利用者の皆さんの安全性や耐震性を確保する観点から、津城跡石垣の改修が必要な箇所やその工法を研究するための検討会を立ち上げます。
- 全線復旧した名松線を活用し歴史・文化に触れる機会の拡充が図れるよう、多気北畠氏遺跡の国史跡の追加指定に向けた調査を進めます。
- 三重県総合博物館MieMuを活用し、古代から新 津市誕生までのルーツをたどる「過去から未来へ～津のあゆみ～」をテーマとした新 津市誕生10周年記念特別文化財展を開催します。



国登録有形文化財 旧明村役場庁舎

地域との広がりのある連携

- 土曜日の教育活動を通じた地域ぐるみの防災訓練を推進します。また、学校、地域、行政が連携した中学校区単位の子ども人権フォーラムや地域人権フェスティバル、人権教育講演会を開催します。
- 障害者差別解消法に的確に対応するため、人権教育と特別支援教育の両側面からの職員研修をさらに充実し、保護者への周知にも取り組みます。
- 児童相談所や警察、PTA、自治会など関係団体との連携による青少年の健全育成を推進します。
- 図書館では、ボランティアグループによる絵本の読み聞かせをはじめ、「手づくり絵本コンクール」や「手づくり絵本教室」を通じた本に触れ合う機会の提供に努めます。

まち全体で子どもたちを育む

津市の子どもたちの、未来に向けた豊かな可能性を具現化していくためには、各行政部門が連携して、まち全体で子どもたちを育ていく教育行政が必要となります。そのために、教育内容に自ら責任を持って取り組み、総合教育会議での議論を大切にしながら、津市の教育施策という広がりの中で教育行政の推進に取り組んでいきます。